



新年スタート！ 3学期始業式

新年明けましておめでとうございます。穏やかな正月をお過ごしになられましたか？今年もよろしく願いいたします。

新年を迎え、新学期が始められることをうれしく思います。しかし、受験生のお宅では、そうはいかなかったでしょう。きっと机に向かっていた時間が長かったことと思います。また、新型コロナウイルス感染症の状況や新たな変異株のオミクロン株が急拡大しており、我々を不安にさせています。学校としても、引き続きマスクの着用、手洗い、消毒、換気等、基本的な感染防止対策に努めていきます。ご家庭でのご協力もよろしくお願い致します。

始業式では、新たな年を迎えた3学期を「節目」と考え、再度、2学期の終業式に伝えた「節目」を「物事の変わり目」「きっかけ」と捉えて大事にしてほしいことや、自分を変えるためには、「目標」や「テーマ」がないと自分を変えていこうという気持ちにはなりませんから、「〇〇に頑張りたい！」「〇〇を意識したい！」など、自分で明確な「目標」や「テーマ」を決めてチャレンジしてほしいと伝えました。

学校生活では、今年度のまとめの学期です。4月に立てた「自分の目標」があります。これまでの取り組みを振り返り、今後に繋げ、しっかりまとめをしてほしいと思います。併せて、学級目標へ取り組む自分の姿をもう一度見直し、「この学級でよかった！」と思って終わられる学期にしてほしいと思います。一人ではできないことでも、しっかり仲間と協力すれば実現できる、達成できることは、これまでの多くの行事や取り組みを通して学んできました。しっかり仲間と響き合い、「目標」や「テーマ」をもってチャレンジし、粘り強く取り組み、自分を成長させる学期にしてほしいと思います。

始業式に続いて、生徒会執行部の活動のスタートとして、生徒会長以下執行部役員があいさつをしました。これも大きな「節目」です。一つ一つの動きや語る言葉にまだ硬さやぎこちなさはあるものの、精一杯頑張りたいという気持ちはしっかり伝わってきました。生徒たちみんなの力を合わせて、生徒会活動を盛り上げ、よりよい大栄中学校を創っていってくれるものと期待しています。

<新生徒会執行部あいさつ>



- | | | | | | | | | | |
|---------------|---------------|----------------|------------------|----------------|------------------|----------------|------------------|----------------|----------------|
| 生徒会長
山口 育夢 | 生徒副会長
山田 愛 | 生徒会総務
中原 千晴 | 生活安全委員長
藤本 嘉斗 | 学習委員長
井高 桜子 | 環境福祉委員長
小椋 心園 | 放送委員長
福光 倅大 | 保健体育委員長
細田 蒼真 | 給食委員長
松浦 達也 | 図書委員長
井上 真緒 |
|---------------|---------------|----------------|------------------|----------------|------------------|----------------|------------------|----------------|----------------|



先輩から引き継いだ生徒会執行部を、さらに素晴らしいものにしていこう！

※代議員長は代議員会で決定します。

新生徒会執行部リーダー研修会にて・・・

☆家庭教育12か条☆

1月は「本は心の栄養」
～子どもの世界を広げる～



生徒会担当の先生から、新生徒会執行部のリーダー研修で話をしてほしいという依頼がありました。令和4年度の学校経営方針(案)で生徒会活動と関わるものを生徒たちに伝えて、それを踏まえた活動もしていきたいということでしたので、生徒会執行部へ私の考えや願いを、裏面の枠内にまとめ、印刷して話をする予定です。

全校生徒のみなさんもぜひ読んで、課題解決の主体者としての自覚をもち、具体策に協力し、生徒会活動を盛り上げ、大栄中学校をさらに素敵な学校にしていってくれることを期待しています。

年度当初にお伝えしましたが、私の学校経営方針は「知」「徳」「体」「地域連携」で構成されています。そして、それぞれの領域で「取り組みの重点」をいくつか設定し、先生方とともに学校運営を行っています。裏面に記載している重点事項を踏まえた新生徒会執行部の活動に期待です。

<令和4年度学校経営方針(案)で生徒会活動と関連する重点事項>

- ・主体的な学習の習慣化、自学ノートの工夫
- ・GIGAスクール構想に係るICT活用
- ・行事を核とし、互いを認め合い、高め合う仲間づくり
- ・当たり前のレベルのさらなる向上(あいさつ、無言美化、2分間着席等)
- ・生活リズムの確立と自律的な健康づくり
(ノーメディアデー、GTNは2時間まで、SNSは午後9時まで)
- ・地域文化・芸能等の発見・発信

新生徒会執行部のみなさんへ

「民主主義とは何か」と問われたらどう答えますか？

いろいろな考え方や難しい説明は様々にありますが、簡単に言うと「国民一人ひとりが主役となって国をつくっていく仕組み」だと言うことができます。

大栄中に置き換えると「**生徒一人ひとりが主役となって大栄中をつくっていくこと**」が民主主義なのです。みんなが直接にかかわるのは生徒総会です。一斉に集まって直接物事を決める直接民主制の仕組みです。しかし、日常の様々な課題に対して、たびたび総会を開くことは日程的にも難しいため、**代表を選んで権限を託し、大栄中の様々な課題解決を託している**のです。これが間接民主制です。みんなから権限を預けられた生徒会執行部は、全体に関わることは執行部で、課題によっては専門委員会を組織して、分担して課題解決にあたっていきます。**生徒会執行部が仕事をしているのは、選挙によってみんなから課題を解決することを任されたから**なのです。

では、生徒会の会員である生徒のみんなが、生徒会執行部や専門委員長にお任せ、何もしなくて良いかといえば間違いです。任せたら任せた責任というものが当然発生します。執行部や専門委員会が取り組むことに協力するという責任です。つまり、**生徒会執行部や専門委員会は課題を明らかにして、その課題解決に向けた具体策を示します**。生徒会の会員である全校生徒は、それに協力して、課題の解決に向けて動き出す責任があるのです。課題を解決するのは生徒会執行部ではなく、会員である生徒です。生徒はお客さんではなく、課題解決の主体者です。

課題を解決する主体者は生徒会の会員である生徒一人ひとりだということを、より自覚させ、動き出せるよう、生徒会執行部がみんなをリードし巻き込んでいってくれることを期待しています。

熱意をもって生徒会役員になったみなさんの今後の活躍から心から願っています

学校長